

回答書

| No. | 質 問 項 目    | 質 問 内 容                                                                                                    | 回 答                                                                                                             |
|-----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 資料の提出について  | 参加表明書、企画提案書の提出期限日の締切時間はあるか。                                                                                | 同日中であれば受け付けます。<br>ただし、書類を持参する場合、閉庁（17 時 15 分）までの持参を原則とします。                                                      |
| 2   | 対象学年について   | 本件は、小学生を対象とした学習教材の制作であるが、主な対象学年として、低学年・中学年・高学年のうち、どの学年層を想定しているか。                                           | 主に 4 年生から 6 年生を想定しています。                                                                                         |
| 3   | 授業時間について   | 小学生の授業 1 コマは何分か。（35 分程度の動画を視聴する場合、動画視聴以外の学習活動に充てられる時間はどの程度を想定しているか。）                                       | 授業の 1 コマは 45 分、動画時間の 35 分程度を除く前後 5 分の導入・ふりかえり時間を想定しています。授業用動画はクイズ等の時間と合わせて 35 分程度で完結するものを制作してください。              |
| 4   | 授業時間について   | 35 分程度の授業用動画内では、一時停止してワークを行う時間を設けるのか、一気に流した後に行うか。提案者によるプログラム設計によるものと考えてよいものか。その場合、動画の尺が 35 分より短くなっても問題ないか。 | どちらでも構いません。（提案者によるプログラム設計によるものと考えてよいです。）動画の尺が 35 分より短くても、プログラムとして 35 分程度で完結する教材であれば問題ありません。                     |
| 5   | 授業の進め方について | グループワークについて、具体的な実施方法の想定はあるか。                                                                               | 山地災害未然防止に関する学習教材制作業務基本仕様書（以下、「仕様書」という。）4（1）イの 3 点目にクイズやグループワークを例示していますが、企画提案をそれに限定するものではなく、コンペにおいては自由な提案を歓迎します。 |

| No. | 質 問 項 目  | 質 問 内 容                                                                                                                         | 回 答                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | 構成について   | 構成-4.「山地災害危険地区とは」において、3種類の分類について、児童にどの程度まで理解させることを想定しているか。また、専門用語など、小学生にとって難解と思われる言葉について、動画ないでどの程度まで意味を解説する必要があるか。              | 山地災害危険地区3種類については、その現象と各現象の違いを理解させることを想定しています。ただし、専門用語の使用は可能な限り控え、アニメーション等を用い、イメージで理解しやすいような工夫を求めます。なお、県内の危険地区の指定（マップの紹介等）についても解説をお願いします。<br>※県HPで山地災害危険地区マップを公開しています。<br>( <a href="https://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/chisan/">https://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/chisan/</a> ) |
| 7   | テキストについて | テキストについては、児童が書き込みながら学習するワークシート型と、内容を読みながら理解を深める読み物型のどちらを想定しているか。また、全体のページ数はどの程度を想定しているか。                                        | テキストのみでも説明ができるように読み物型を想定していますが、途中でワークやクイズ等を入れる場合は、別途ワークシート等を制作することも想定しています。なお、全体のページ数は32ページ程度を想定しています。                                                                                                                                                                                             |
| 8   | 簡易版について  | 35分程度の動画を10分程度に短縮するにあたり、特に重視し、時間を割いて盛り込みたい項目はどれか。                                                                               | 山地災害から身を守るためには、学習者に山地災害の危険性を認識させ早期避難等の防災行動の意識づけを促すことが最も重要だと考えているため、仕様書4（1）ウの項目1から3を重点的に盛り込みたいと考えています。                                                                                                                                                                                              |
| 9   | 撮影について   | 構成-5.「治山工事とは」において、現場取材等により治山施設が完成するまでの過程を記録することとされているが、撮影は何回程度を想定しているか。また、対象となる施設は県内のどの地域にあるか。あわせて、本項目以外に、現地撮影を想定している場所や内容はあるか。 | 具体的な撮影対象は未定であり、企画提案内容を踏まえ受発注者間の協議により選定しますが、種類（溪間工、山腹工）ごとに2回（施工中、完成後）の計4回程度の撮影を想定しています。また、対象施設は、主に令和2年7月豪雨等で被災した地域（県南部）を想定しています。本項目以外の想定はありませんが、企画提案を限定するものではなく、コンペにおいては自由な提案を歓迎します。                                                                                                                |

| No. | 質 問 項 目  | 質 問 内 容                            | 回 答                                                                       |
|-----|----------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 10  | 撮影について   | 5 の施設撮影の施設側との調整等は受託者で行うのか。         | 撮影に係る事前調整・依頼は発注者側で行います。撮影に係る具体的な日程調整、必要な法令に基づく許可届出等の手続きについては、受注者側をお願いします。 |
| 11  | 資料収集について | 1 で「山地災害の写真等を活用し」とあるが、写真は提供いただけるか。 | 教材制作に必要であれば、発注者が資料収集のうえ提供します。                                             |
| 12  | 資料収集について | 2 で地形や気象条件の解説については、資料などの提供は可能か。    | 教材制作に必要であれば、発注者が資料収集のうえ提供します。                                             |
| 13  | 防災教育について | 現在、県内で小学校では、どのような防災教育が実施されているか。    | 参考に令和 4 年度より県森林保全課で実施している山地防災教育の実施要領を送付します。                               |